

レベル

2

# パリのネズミの

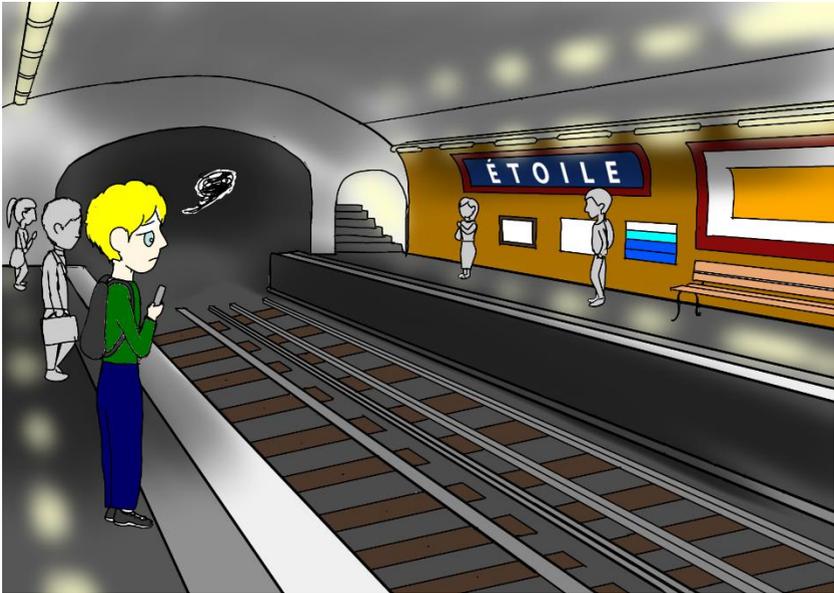
## こうしん デモ行進



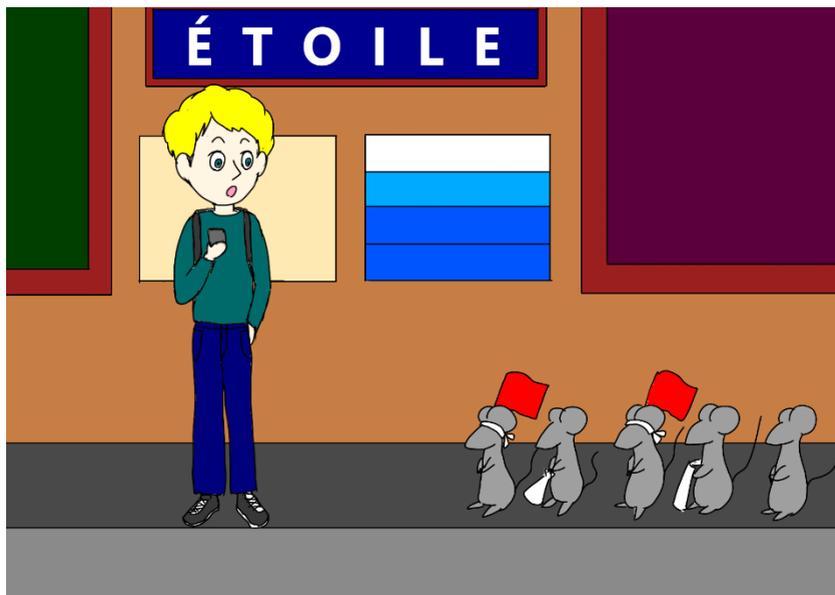


でんしゃ きょう あさ  
パリの電車は今日も朝からストライキで  
す。

えき こ でんしゃ ま  
駅で、なかなか来ない電車を待っています。  
す。

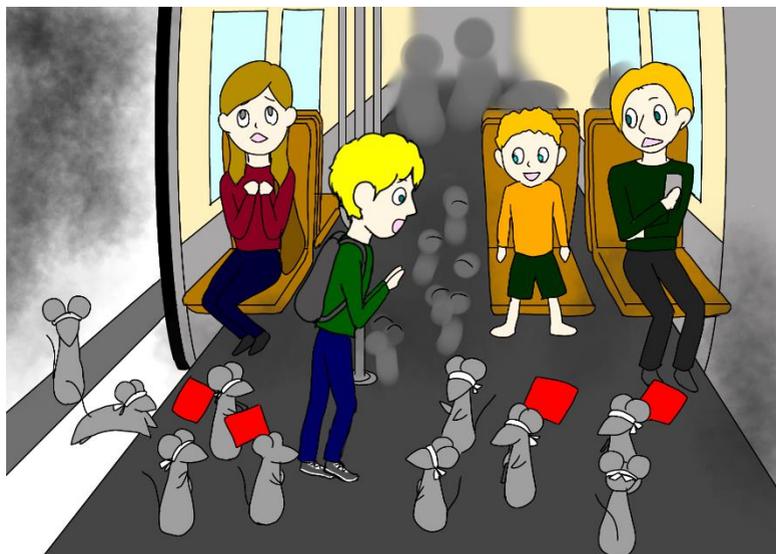


あっ！ネズミだ。



たくさんのネズミ<sup>ある</sup>が歩いてきます。ネズミ  
たちは赤い旗<sup>あか はた も</sup>を持っています。

「えっ、これはネズミのデモ行進？」<sup>こうしん</sup>びっ  
くりしていると、<sup>おと</sup>ゴーっという音とともに  
<sup>でんしゃ はい</sup>電車が入ってきました。



<sup>でんしゃ の</sup>電車に乗ると、<sup>でんしゃ なか</sup>電車の中もネズミでいっぱいでした。

まち  
「街をもっときれいにしろ！」

しず す かんきょう  
「静かで住みやすい環境を！」

「ぼくたちはおこっているぞ！」

おお こえ さけ  
大きな声で叫んでいます。



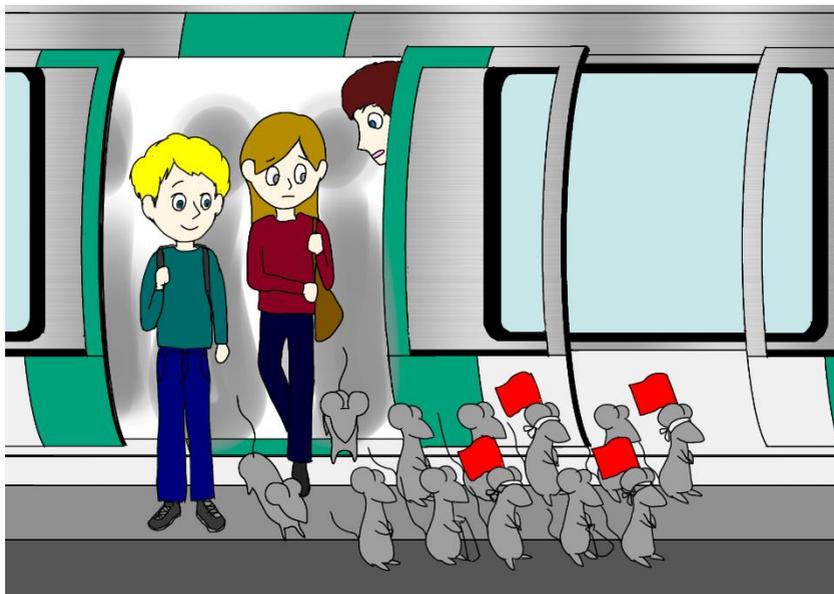
ネズミたちに<sup>き</sup>聞いてみました。

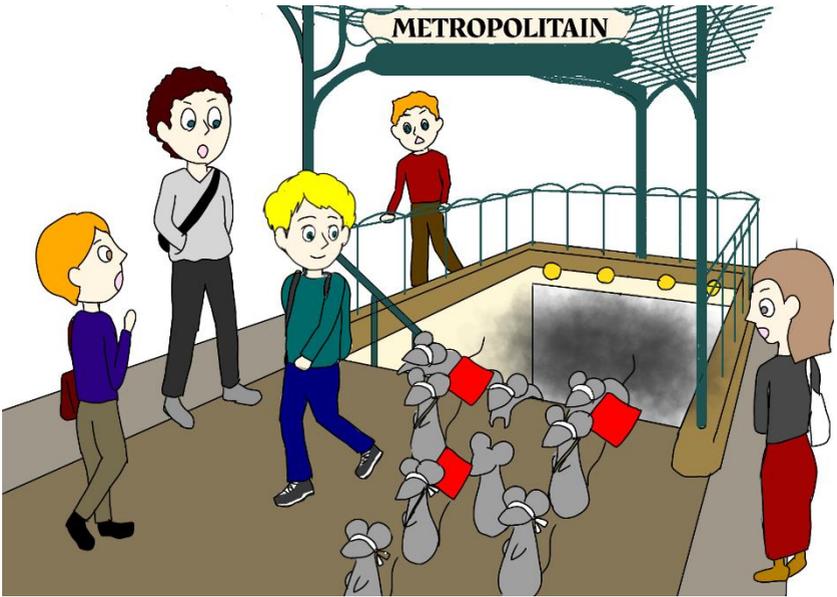
「みなさんはどうしておこっているのですか。」



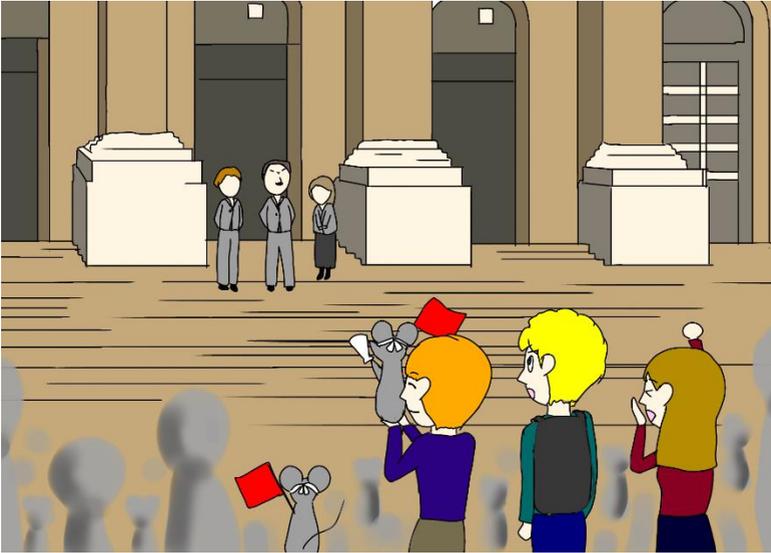
「ぼくたちの街は人間まち にんげんによってとても汚きたな  
い場所ばしょになってしまいました。このままで  
は住みす つづ続けることはできません。それで、  
みんなそうだんで相談してデモ行進こうしんをしているので  
す。いっしょにしませんか。」

えき　　つ　　でんしゃ  
駅に着くとネズミたちは電車をおりて、  
ひろば　　む　　ある  
広場へ向かって歩いていきます。





まち ひと はじ  
街の人たちは初めはびっくりしていましたが、だんだん、ネズミたちといっしょに歩  
く人が増えてきました。街の人たちもネズ  
ミたちと同じように思っていたからです。



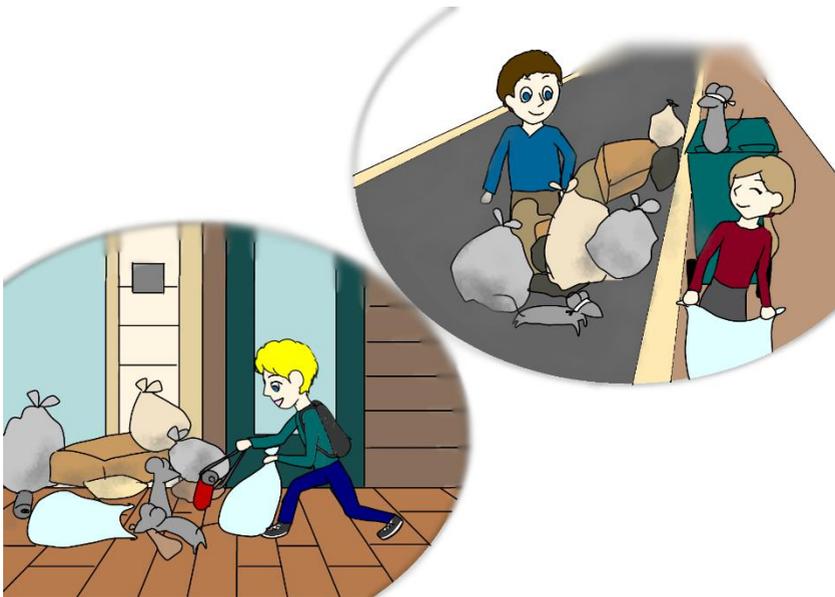
ネズミたちと街<sup>まち</sup>の人々<sup>ひとびと</sup>は、市長<sup>しちょう</sup>や役所<sup>やくしょ</sup>の人<sup>ひと</sup>  
たち<sup>む</sup>に向かって、いっしょ<sup>さけ</sup>に叫んでいま  
す。

「街<sup>まち</sup>をもっときれいにしろ！」

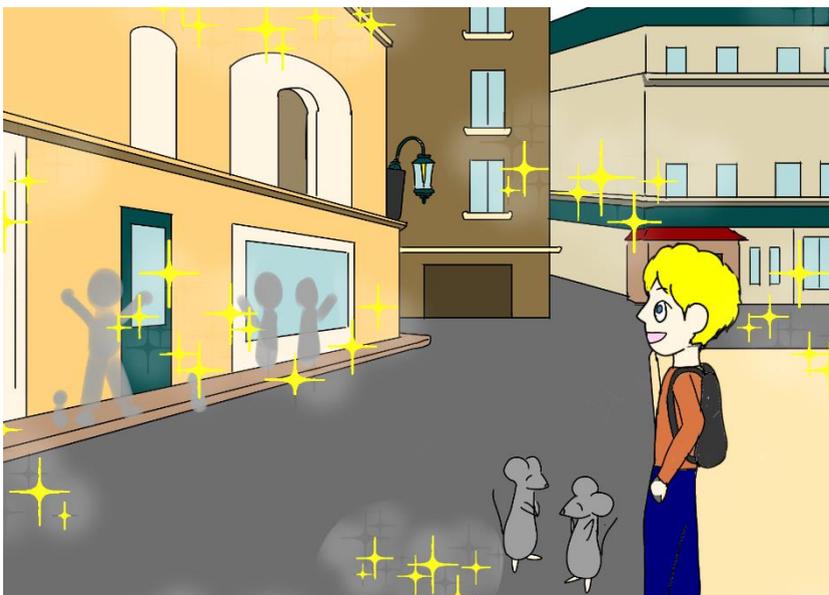
「静<sup>しず</sup>かで住<sup>す</sup>みやすい環<sup>かん</sup>境<sup>きょう</sup>を！」

「ぼくたちはおこっているぞ！」

やがて、ネズミたちは街のごみを拾い、  
掃除をはじめました。広い街をととてもきれ  
いにしました。街の人々もたくさんの人が  
ネズミたちに協力しました。

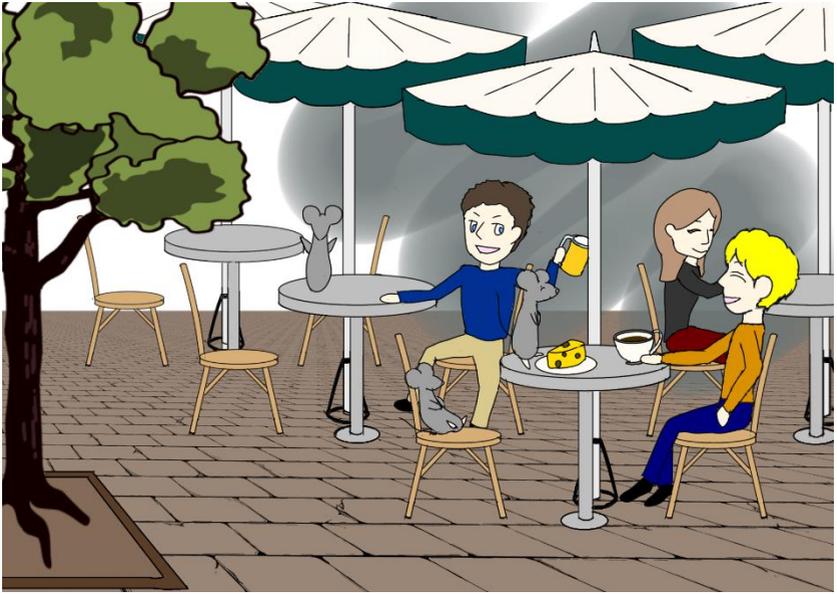


すうじつご まち いま まった ちが  
数日後、街は今までと全く違う、きれい  
で、しず す まち  
で、静かで、住みやすい街になりました。



「これですこしあんしん く 暮らせるまち ちか  
いた」 ネズミが言いました。

「ほんとだ、きれいな街になった」人々も  
ひとびと  
うなずきました。



ネズミたちのデモ行進<sup>こうしん</sup>のおかげで、街<sup>まち</sup>のひとびとの気持ち<sup>きもち</sup>も変わ<sup>か</sup>りました。きれいで静<sup>しず</sup>かにな<sup>な</sup>った街<sup>まち</sup>で、ネズミたちは人々<sup>ひとびと</sup>といっしょ<sup>な</sup>かに仲良<sup>なかよ</sup>く暮<sup>く</sup>らしました。

# パリのネズミのデモ<sup>こうしん</sup>行進

2024年9月1日発行

原案：中西さおり

編著：三浦多佳史

挿絵：磯山暁子

監修：MCJP ぼくよむ文庫制作チーム





国際交流基金パリ日本文化会館日本語事業部